



サービス パラメータの設定

Cisco Unified Presence Server のサービス パラメータを使用すると、選択したサーバでさまざまなサービスを設定できます。[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで疑問符 (?) ボタンをクリックすると、パラメータのリストと説明を表示できます。特定のパラメータをクリックすると、そのパラメータを含むリストが先頭に表示されます。

Cisco Unified Presence Server Serviceability を使用してサービスを無効にすると、Cisco Unified Presence Server で更新後のサービス パラメータ値が維持されます。サービスを再開すると、Cisco Unified Presence Server によりサービス パラメータが変更後の値に設定されます。

開始する前に

手順を進める前に、次の前提条件が満たされていることを確認してください。

- サーバが設定されている。詳細については、[P.2-1 の「サーバの設定」](#)を参照してください。
- サーバでサービスが使用可能である。[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウに、使用可能なサービス (アクティブおよび非アクティブ) がすべて表示されます。



注意

サービス パラメータの一部を変更すると、システム障害を引き起こす場合があります。変更しようとしている機能を完全に理解している場合、または Cisco Technical Assistance Center (TAC) から変更の指定があった場合を除き、サービス パラメータを変更しないことをお勧めします。

サービス パラメータを設定または表示するには、次のトピックを参照してください。

- [サーバのサービスに対するサービス パラメータの設定 \(P.3-2\)](#)
- [サービス パラメータの表示 \(P.3-4\)](#)

サーバのサービスに対するサービスパラメータの設定

特定のサーバのサービスに対するサービスパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [システム] > [サービスパラメータ] の順にクリックします。
- ステップ 2** [サーバ (Server)] ドロップダウン リスト ボックスからサーバを選択します。
- ステップ 3** [サービス (Service)] ドロップダウン リスト ボックスから、更新するパラメータを含むサービスを選択します。



(注) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウには、サービス (アクティブおよび非アクティブ) がすべて表示されます。

[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 4** 適切なパラメータ値を更新します。このサービスのインスタンスのサービスパラメータをすべてデフォルトの値に設定するには、[デフォルトに設定] ボタンをクリックします。

パラメータのリストと説明を表示するには、疑問符のボタンをクリックします (図 3-1 を参照)。特定のパラメータを持つリストを上部に表示するには、[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウでそのパラメータをクリックします。

図 3-1 [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウ

The screenshot shows the Cisco Unified Presence Server Administration interface. The main content area is titled "Cisco AMC Service (Active) サーバ上のパラメータ (Parameters on server) ups103 (Active)". It contains a table of parameters:

パラメータ名 (Parameter Name)	パラメータ値 (Parameter Value)	推奨値 (Suggested Value)
Clusterwide Parameters (Parameters that apply to all servers)		
Primary Collector *	ups103	
Failover Collector	<なし>	
Data Collection Enabled *	True	True
Data Collection Polling Rate *	30	30
Server Synchronization Period *	60	60
RMI Registry Port Number *	1099	1099
RMI Object Port Number *	1090	1090
AlertMgr Enabled *	True	True
Logger Enabled *	True	True
Perfmon Log Deletion Age *	2	2

At the bottom of the window, there are buttons for "保存" (Save) and "デフォルトに設定" (Set to Default). A note at the bottom left states: "i * 必須項目を示しています。" (i * Indicates required items.)



(注) 一部のサービスには、ほとんど変更されることのないサービスパラメータが含まれています。Cisco Unified Presence Server の管理ページでは、[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウにアクセスしても、これらのパラメータが自動的に表示されません。すべてのパラメータを表示するには、[詳細設定] をクリックします。すべてのパラメータが表示されてから [簡易設定] をクリックすると、基本パラメータを再表示できます。[詳細設定] ボタンが無効な場合、デフォルトでそのサービスのパラメータがすべて表示されます。

ステップ5 [保存] をクリックします。

ウィンドウが更新され、ユーザが行った変更により、Cisco Unified Presence Server でサービスパラメータが更新されます。

追加情報

P.3-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

サービスパラメータの表示

クラスタ内のすべてのサーバで特定のサービスに属するサービスパラメータをすべて比較することが必要な場合があります。また、非同期のパラメータ（サーバ間で値が異なるサービスパラメータ）または提示された値から変更されているパラメータだけを表示することが必要な場合もあります。

クラスタ内のすべてのサーバで、特定のサービスに対するサービスパラメータを表示するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [システム] > [サービスパラメータ] の順にクリックします。

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリストボックスからサーバを選択します。

ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウンリストボックスから、クラスタ内のすべてのサーバでサービスパラメータを表示するサービスを選択します。



(注) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウに、サービス（アクティブおよび非アクティブ）がすべて表示されます。

ステップ 4 [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されたら、[関連リンク] ドロップダウンリストボックスの [すべてのサーバに対するパラメータ] を選択して、[移動] をクリックします。

[すべてのサーバに対するパラメータ] ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、リストにすべてのパラメータがアルファベット順に表示されます。各パラメータで、推奨される値がパラメータ名の隣に表示されます。各パラメータ名の下に、そのパラメータを含むサーバのリストが表示されます。各サーバ名の隣に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

所定のパラメータで、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックし、対応するサービスパラメータのウィンドウへリンクし、値を変更します。[前へ] および [次へ] をクリックすると、[すべてのサーバに対するパラメータ] ウィンドウ間を移動できます。

ステップ 5 非同期のサービスパラメータを表示する必要がある場合、[関連リンク] ドロップダウンリストボックスの [すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] を選択してから [移動] をクリックします。

[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、サーバによって異なる値を持つサービスパラメータがアルファベット順で表示されます。各パラメータで、推奨される値がパラメータ名の隣に表示されます。各パラメータ名の下に、そのパラメータを含むサーバのリストが表示されます。各サーバ名の隣に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

所定のパラメータで、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックし、対応するサービスパラメータのウィンドウへリンクし、値を変更します。[前へ] および [次へ] をクリックすると、[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] ウィンドウ間を移動できます。

ステップ 6 提示された値から変更されているサービスパラメータを表示する必要がある場合、[\[関連リンク\]](#) ドロップダウンリストボックスの [\[すべてのサーバに対する変更済パラメータ\]](#) を選択してから [\[移動\]](#) をクリックします。

[\[すべてのサーバに対する変更済パラメータ\]](#) ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、提示された値と異なる値を持つサービスパラメータがアルファベット順で表示されます。各パラメータで、推奨される値がパラメータ名の隣に表示されます。各パラメータ名の下に、提示された値と異なる値を持つサーバのリストが表示されます。各サーバ名の隣に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

所定のパラメータで、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックし、対応するサービスパラメータのウィンドウへリンクし、値を変更します。[\[前へ\]](#) および [\[次へ\]](#) をクリックすると、[\[すべてのサーバに対する変更済パラメータ\]](#) ウィンドウ間を移動できます。

追加情報

[P.3-5](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [サービスパラメータの表示 \(P.3-4\)](#)
- [サーバのサービスに対するサービスパラメータの設定 \(P.3-2\)](#)

